

住民・行政・保健・医療・介護福祉従事者のための
暮らしを支える地域ケアを考える懇話会
～地域包括ケアから共生社会へ～
誰もが自分らしい普通の暮らしを続けられる地域社会へ



Care Café ☆ 幸せ杉



【実施主体】：幸手市・杉戸町・北葛北部医師会
平成30年度北葛北部 在宅医療・介護連携推進事業

【開催日時】： **2018年 11月8日(木) (18:30～20:30)**

【会場】： ウェルス幸手(2階研修室)

幸手市大字天神島1030-1

無料(事前申込不要)



講演：「多職種による生活支援記録法(F-SOAIP)の活用
～事例検討による利用者ニーズを
中心とした相互理解と合意形成～」

講師： 畠末 憲子 氏

埼玉県立大学 保健医療福祉学部社会福祉子ども学科准教授

事例提供者：中田 理絵 氏

幸手東地域包括支援センター センター長

《講師紹介》 畠末 憲子(しますえ のりこ)

- 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 社会福祉子ども学科 准教授
- 生活支援記録法(F-SOAIP)実践教育研究所 共同代表、とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会の企画委員。
- 主著には、『M-GTAによる生活場面面接研究の応用～実践・研究・教育をつなぐ理論～』(共著 著：ハーベスト社、2015)、特別企画「6項目でラクラク整理 使ってみませんか？生活支援記録法(F-SOAIP)」『月刊ケアマネジメント』(2017年12月号)等がある。
- 生活支援や生活場面面接の実践研究から、医療・福祉・介護における実践過程の可視化を通じ、ミクロ・メゾ・マクロまで多様な効果をもたらす生活支援記録法(F-SOAIP)を、国際医療福祉大学の小嶋章吾教授と共同開発し、F-SOAIPの普及活動(研修や実践研究の支援・教材作成等)に努めている。本記録法は直近(2018年7月)では、地域ケアリング、月刊介護保険、シルバー新報にて紹介された。F-SOAIPの詳細は <http://seikatsu.care/>
- 全国レベルでの標準化や自治体単位での活用、介護支援専門員の法定研修で最初に教えてほしい、といった要望が寄せられています。

【事業事務局】社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス東埼玉総合病院
在宅医療連携拠点 菜のはな 代表(tel:0480-40-1311)